

都市の3Dデジタルマップの実装に向けた仕様のアップデートの進め方 (2 / 5)

○：事前協議、◎：主協議

要件定義書（案）		頁	記載概要	産学官WG	
				第5回	第6回
5. 整備・運用スキーム	5.1 基本方針	36	都、官民、民間等の役割、事業構成等の考え方	○	◎
	5.2 整備スキーム	44	対象データ・事業ごとに適用するスキームの選択肢及び基盤データの整備、更新、品質管理の基本的な考え方		
	5.3 運用スキーム	50	整備データの活用・連携・提供スキーム	○	◎
	5.4 事業改善の取組み	52	3Dデジタルマップの整備・更新及び運用を進めていく上での事業改善の取組みイメージ		
6. 整備・更新・提供にかかるルール	6.1 3Dデジタルマップのビジネス関係図と必要となるルール	53	第三者提供のために必要となるルール及び権利の考え方		
	6.2 個人情報保護・プライバシーに係るルール	53	個人情報やプライバシーにかかる考え方、対処法		
	6.3 知的財産権に係るルール	55	知的財産権にかかる考え方		
	6.4 利用及び第三者提供に係るルール	55	利用及び第三者提供にかかる考え方、官民連携データプラットフォームのポリシーとの関係		
7. スケジュール		60	都市の3Dデジタルマップの整備・運用に向けたスケジュールの提示		
8. ロードマップ		61	ロードマップの提示	○	◎

■ 業務要件（想定ユースケース）（第2章）

(2) 想定ユースケース

- ・デジタルツイン実現プロジェクト等、行政利用のユースケースをアップデート
- ・Project PLATEAUの実証等、都の仕様に関連性の高いユースケースについて追加

■ データ整備・更新要件（第3章）

1 基本方針

(4) データリソース要件

- ・既存データリソース（民間）について、直近の民間事業者による取組展開などの最新情報を反映
 - ・既存データリソース（民間）に品質確保を追加
- ※実際の整備フェーズを見据えた有力候補のスクリーニングや基準設定など検討深掘りを実施

2 想定ユースケースからのデータ項目整理

【表3-6：想定ユースケースからのデータ項目】

- ・モデルエリアにおける取組と将来利用の面から精緻化

3 地物・属性定義

【表3-7：都市の3Dデジタルマップ 地物一覧】

- ・モデルエリアにおける取組と将来利用の面から精緻化

■ システム整備・運用要件（第4章）

- ・市内システムのクラウド化検討、デジタルサービス局の動きに合わせた部分更新

■ 整備・運用スキーム（第5章）

1 基本方針

(3) 事業方式・実施主体の基本的な考え方

- ・【データ整備スキーム(P.44)】について、建物・道路に分けて精緻化

2 整備スキーム

(4) データ更新

- ・PLATEAU事業の実証実験エリアを本3Dデジタルマップへの組み込みを考慮

3 運用スキーム

(2) データ提供・管理

- ・【図5-11：整理整備データの活用・連携・提供スキーム】の深度化
- ・【図5-12：提供用のデータ加工イメージ】の深度化
- ・【提供用のデータ加工の区分の考え方（素案）】を追加

■ 整備・更新・提供にかかるルール（第6章）

1 3Dデジタルマップのビジネス関係図と必要となるルール

【図6-1：3Dデジタルマップのビジネス関係図と必要となるルール】

- ・具体的なプレイヤーを示しルール（データ仕様、法的、運用）を深掘り

■ ロードマップ（第8章）

- ・デジタルサービス局の動きを踏まえた更新

■ 都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書（案）（付属資料1）

- ・パイロットマップを通じた仕様整理

【参考資料 3Dデジタルマップの仕様と整備・更新の考え方】

- ・ユースケース検証を通じた更新

■ 機能要件一覧（素案）（付属資料2）及び 非機能要件一覧（素案）（付属資料3）

- ・暫定的な運用環境導入を通じた精査

<参考> データ製品仕様書（案）の修正方針（1/2）

○：事前協議、◎：主協議

■ 都市の3Dデジタルマップの実装に向けた検討の全体像

都市の3Dデジタルマップのための データ製品仕様書（案）		頁	記載概要	産学官WG	
				第5回	第6回
はじめに		1			
1	概覧	2			
1.1	データ製品仕様の作成情報	2	データ製品仕様の題名、日付、作成者、言語等		
1.2	本データ製品仕様に基づく製品の目的	2	目的とするユースケース		
1.3	本データ製品仕様に基づく製品の範囲	2	空間範囲と時間範囲		
1.4	引用規格等	2			
1.5	用語と定義	3	本データ製品仕様で使用する用語と定義		
1.6	略語	5	略語の説明		
2	適用範囲	5	適用範囲と名称		
3	データ製品識別	6	名称、日付、問い合わせ先、地理記述		
4	データ内容及び構造	7			
4.1	はじめに	7	定義する地物の一覧		
4.2	応用スキーマクラス図	8	応用スキーマクラス図の出典と記法、パッケージ図、応用スキーマ、空間スキーマプロファイル		
4.3	応用スキーマ文書	25	応用スキーマで定義する地物属性の型に共通する事項、地物定義、コードリスト		
5	参照系	64	適用する空間参照系、時間参照系		
6	データ品質	65	データ製品が保証すべき品質の基準（品質要求）及び品質評価の手法（品質評価手順）		
6.1	本データ製品仕様における品質要求	65	3D都市モデルに対する標準的な品質要求		
6.2	品質評価手順に関する共通事項	65	品質評価手法		
6.3	品質要求及び品質評価手順	66	品質要件（完全性、論理一貫性、位置正確度、時間正確度、主題正確度）ごとの品質要求及び品質評価手順		
6.4	品質向上に関する共通事項	77	品質向上に関する基本的な考え方		
7	データ製品配布	78			
7.1	配布書式情報	78	データ配布における書式情報、符号化仕様、文字集合、言語		
7.2	配布媒体情報	80	配布媒体のファイル単位、取り扱い、ファイル命名規則、ファイル構成、媒体名		
8	メタデータ	83	データ製品に関するメタデータの形式、記載項目、作成単位		
9	その他	84			
9.1	データ取得	84	データ取得における作業手順、留意事項		
9.2	データ製品仕様のプロファイル	84	データ製品仕様を拡張する際の規則、制限規則		
参考資料	3Dデジタルマップの仕様と整備・更新の考え方	86	データ項目ごとの仕様、整備・更新の考え方	○	◎
参考文献		88			

■ 4 データの内容及び構造

4.2 応用スキーマクラス図

4.2.3 都市の3Dデジタルマップ^o応用スキーマ

- ・地下街の位置づけ

4.3 応用スキーマ文書

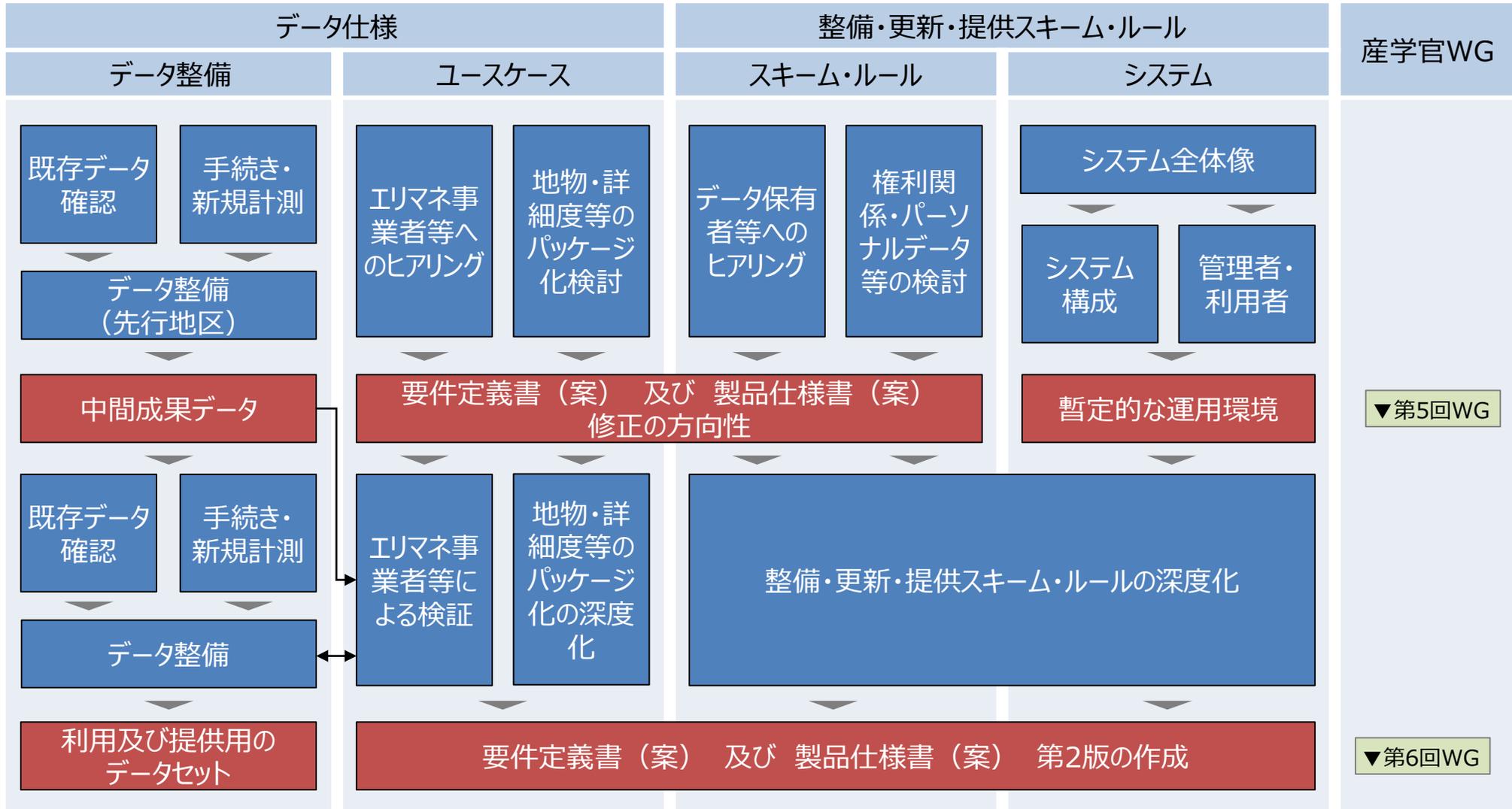
4.3.2 地物定義

- ・道路、都市付属物を更新

■ 参考資料 3Dデジタルマップ^oの仕様と整備・更新の考え方

- ・整備・更新の考え方を深度化

今後の進め方について



令和4年度 ユースケースにあわせた段階的なエリア拡充